



「予測困難な時代」

校長 佐藤 淳

早いもので7月になりました。令和6年も折り返し、また、19日(金)には終業式となり1学期も残すところわずかです。

生徒の皆さんは、期末テストも終わり、夏休みを待つばかり♪というところかもしれませんね。この夏休みをしっかりと楽しむとともに、自分をしっかりと見つめ、2学期以降にさらに成長できるよう準備を進めていってほしいと思います。

17日(水)・18日(木)には保護者懇談会を開催させていただきます。保護者の皆様には、ご多用のところ、ご来校いただきますが、よろしくお願いいたします。1学期のお子様の学校での様子等についてお話をさせていただきながら、2学期に向けた有意義な時間にできたらと考えております。学校へのご質問やご要望がありましたら、遠慮なくお伝えいただけたらと思います。

さて、今月のタイトルに掲げた「予測困難な時代」という言葉は、現行の教育課程を理解するキーワードの一つです。

下に示すように「予測困難な時代」という言葉を文部科学省(以下、文科省)が用いたことには、私たちの教育観、学力観を見直す上で、大きな意味があります。なぜなら、これまで文科省は「知識基盤社会」など、現在、そしてこれからの時代像をはっきりと示してきました。

複雑で予測困難な時代の中でも、生徒一人一人が、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができるよう、教育を通してそのために必要な力を育てていくことを重視している。【出典：中学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則編】

したがって、「覚える」に代表される知識・技能等の「量」も大切なのですが、それ以上に「質」が問われています。そして、かつてのように先生の話静静地に聞いていれば、つまり、学校で教わったこと、今ある正解を身に付ければよいというわけではありません。自分で課題を見つけ、その課題解決に向けて、積極的に自分の考えや意見を表現し(発表・作成等)、他者(友達、教職員、保護者の方、地域の方など)と協働して納得解を創っていく力を付けることが求められています。

このような授業を実践し、生徒一人ひとりの資質・能力を高めることができるように「学力向上のための読解力及び表現力の育成～児童生徒の主体性を引き出すインプットとアウトプットの一体化～」を研修テーマに教職員も研修を進めているところです。

また、他にも現行の教育課程には「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現というキーワードがあります。20日から始まる夏休みはじっくりと「個別最適な学び」に取り組むことができるチャンスです。生徒一人ひとりにとって、様々なことで自分の得意を伸ばしたり、苦手を克服したり、そして、じっくり取り組めなかった課題や研究等を行う時間になることを期待しています。学校でも生徒と準備を進めていきますが、ご家庭でも話題にさせていただき、有意義な夏休みとなるように準備を進めていただけたらと思います。



今回、このようなお話をさせていただいたのは、学期末という機会に、現在の教育課程について改めてご理解いただくとともに、学校・家庭・地域がより一層連携・協働して生徒のよりよい成長を願い、支えていきたいと考えたからです。

今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月の鹿野中学校の様子をお伝えします

6月7日 さんさ踊り・鹿野音頭講習会

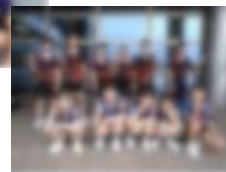
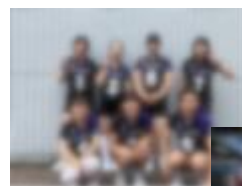
地域の保存会の方にご来校いただき、全校児童生徒がさんさ踊りを教えていただきました。丁寧な指導の下、足や手の動きに苦労しながら、踊ることができるようになりました。9月に行われる小中合同運動会で、お披露目します。ぜひ、ご覧ください。



6月8日 県選手権大会周南市予選会

県内で、一番大きい大会である県選手権大会につながる周南市予選会が行われました。バレー部、卓球部とも残念ながら、県選手権への出場はかないませんでしたが、最後まで諦めずに頑張る姿を見ることができました。

3年生は、中体連主催の大会はもうありません。これからは、これまで培った力を発揮し、自分の将来に向けて努力してほしいと願っています。



6月11日 生徒総会

全校生徒が議案について話し合う生徒総会を行いました。執行部や専門委員会の活動計画が承認された後、「行きたくなる学校づくり」について、話し合いを行いました。グループで話し合った後、全体で発表し、全員が、鹿野中を行きたくなる学校にしていこうとする意識を高めることができました。



6月13日 熟議

第2回学校運営協議会で、児童生徒と地域の方を交えた熟議を行いました。「鹿野学で学びたいこと、学んでほしいこと」「鹿野の課題を解決するために」をテーマに、グループで話し合いをしました。小学4年生から中学3年生までが学年ごとに7グループをつくり、積極的な話し合いになりました。とても素晴らしい熟議であったと思います。地域の方々が「児童・生徒の意見を実現させてあげたいね」といっておられ、印象的でした。今回の熟議で出てきたことを、今後の鹿野学でどのように実施できるか、検討していきたいと思います。



6月20日 人権教育参観日・ハートフル人権セミナー

小中・地域での人権教育の授業参観とハートフル人権セミナーを行いました。授業参観では、各学年で公正・公平や個人の尊重についての内容を学習しました。また、ハートフル人権セミナーでは、周南公立大学の留学生にお越しいただき、4つの国の習慣や特徴、日本との違いなどを話していただいた後に、各国に分かれて、外国の遊びを体験しました。生徒も国の違いに気づいたようです。この経験をこれからの生活に生かしてほしいと思います。

